



平成28年度神奈川県溶接技術コンクール入賞選手

## 神奈川県溶接協会 会長就任にあたって

一般社団法人神奈川県溶接協会 会長 志賀啓介

一般社団法人神奈川県溶接協会会員の皆様には日頃より本協会の活動に際して格別のご支援とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。平成28年5月26日の通常総会で前任の平野賢治会長の後任として、神奈川県溶接協会会長を拝命した志賀啓介です。来年で60周年を迎える歴史ある神奈川県溶接協会会長を仰せつかり、その責務の大きさを改めて痛感している次第ではありますが、会員の皆様のご期待に添えるよう尽力してまいりたいと思います。

本協会の設立の目的は、会員皆様の溶接・接合に関する技術および技能の維持・向上、並びに教育・普及を図り、会員相互の交流・支援および指導育成に関する業務を行うとともに、溶接・接合技術に関する知識と情報の提供、溶接技能評価試験業務を通して設備製造における安全・安心の確保に貢献し、地域産業の健全な発展に寄与することです。この目的を達成するために、神奈川県溶接協会では、年間4回に亘る理事及び監事会を開催して最善の運営を図るべく協議を行い、年間の事業計画を立案し、会員皆様のご承認を頂き、事業展開を図っています。

事業の中でも企業の皆様に参加頂いている「神奈川県溶接技術コンクール」、また、このコンクールが礎となる「神奈川県高校生溶接コンクール」、さらには、「関東甲信越高校生溶接コンクール」と溶接に関する技能の向上や育成に注力し、また、溶接・接合に関する知識と情報提供として講演会/見学会や機関誌を発行し、会員の皆様相互の交流の場を提供させて頂いています。

来年度は、平成13年以来となる神奈川県での「全国溶接技術競技会」が(株)IHI横浜工場で全国から総勢600名の関係者の方々をお迎えして開催され、さらに、神奈川県溶接協会の創立60周年を迎える年となります。このような記念すべき式典を計画・実行できることを感謝すると共に、会員皆様方の絶大なご協力とご支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、溶接・接合技術は、社会インフラを支える重要な要素技術で、日本が世界に誇れる代表的な技術・技能であると確信しております。神奈川県溶接協会の会員の皆様との更なる交流を深め、溶接・神奈川の名声と神奈川県のもの作り産業の更なる活性化に貢献して行く所存ですので、より一層のご支援とご高配を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



志賀新会長

## 平成28年度(第59回)神奈川県溶接技術コンクール 表彰式開催

平成28年度(第59回)神奈川県溶接技術コンクール(被覆アーク溶接及び炭酸ガスアーク溶接)は、神奈川県及び一般社団法人神奈川県溶接協会共催により去る2月12日(金)、開催されましたが、その表彰式が5月26日(木)に(一財)日本溶接技術センターに於いて挙行されました。(入賞者につきましては、前号にて発表、掲載しています)

主催者を代表して神奈川県産業労働局産業部産業振興課 依田孝志課長、一般社団法人神奈川県溶接協会 志賀啓新会長はじめ、入賞選手・会社代表・来賓・協会役員・選手付き添い等約80名の出席を得て行われました。

今年度は、定時総会と同日に表彰式が行われたため、会員会社関係者の参加もあり、盛大な表彰式となりました。

尚 今年度の第62回全国溶接技術競技会は、10月9日(日)北海道函館市の北海道職業能力開発促進センター(ポリテクセンター函館)で開催されます。



全国競技会へ出場する4選手

左から 浅野さん 中神さん 根崎さん 内谷さん



産業振興課 依田孝志課長

## 平成29年度(第60回)神奈川県溶接技術コンクール 開催のお知らせ

平成29年2月3日(金)(一財)日本溶接技術センターにおいて、第60回神奈川県溶接技術コンクールが下記の通り開催されます。

平成29年度は、全国溶接技術競技会が神奈川県の(株)IHI横浜工場で開催されるため、開催県選手枠1つが増え、被覆アーク溶接、炭酸ガスアーク溶接の部それぞれ3名が代表選手に選ばれることとなります。日頃の腕前を試す良い機会となるかと思えます。

たくさんの方々のご応募をお待ちいたしております。

- ・主催 神奈川県・一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・開催期日 平成29年2月3日(金) (申込締切日 平成28年12月22日)
- ・会場 (一財)日本溶接技術センター
- ・参加資格 県下の溶接技術者で、各事業所から推薦された者 又は 県内在住又は在勤の個人
- ・競技課題 全国溶接技術競技会課題と同様  
(競技実施要領ご希望の方は、(一社)神奈川県溶接協会までお問い合わせください)

## 平成28年度(第7回)関東甲信越高校生溶接コンクール 結果

平成28年4月23日(土)、藤沢市にある神鋼溶接サービス(株)研修センターにおいて、第7回関東甲信越高校生溶接コンクールが開催されました。回を重ねるごとに盛り上がりを見せるこの大会、今年も若いパワーがぶつかる白熱したコンクールとなりました。

優勝は、新潟県代表新津工業高校の鈴木翔太選手でした。神奈川県代表の中島くる実選手(神奈川県立磯子工業高校)は、第5位の優秀賞、同じく代表の夏林瑠伊選手(同校)は第7位の優良賞に輝きました。

県代表選手の2名は、短い春休みの一週間(一財)日本溶接技術センターへ練習に通い、力をつけコンクールに臨み、優秀な成績をおさめました。今後の活躍も大いに期待するところです。

## 高校生による溶接研修会及び溶接コンクール について

◎平成28年度(第8回)神奈川県高校生溶接コンクール

平成28年度(第8回)神奈川県高校生溶接コンクールを下記要領により開催します。

- 主 催：(一社)神奈川県溶接協会
- 後 援：神奈川県工業高等学校校長会
- 協 力：(一財)日本溶接技術センター
- 会 場：(一財)日本溶接技術センター
- 期 日：平成28年11月23日(水)
- 競技課題：溶接評価試験のA-2F(板厚9mm裏当て金あり下向き)
- 判定方法：外観判定・X線試験判定
- 参 加 者：神奈川県内の工業高等学校生徒 参加者数：未定

このコンクールで上位2名の方を平成29年度(第8回)関東甲信越高校生溶接コンクールに神奈川県代表として推薦します。

- 期 日：平成29年4月22日(土)
- 会 場：神鋼溶接サービス(株)研修センター (予定)



### ◎神奈川県工業高等学校教師・生徒研修について

一般社団法人神奈川県溶接協会と（一財）日本溶接技術センターは共同で平成28年度神奈川県教科研究会工業部会が主催する神奈川県教科研究会工業部会 機械専門部 夏季研修会「アーク溶接技能講習」を8月22～24日(3日間)開催しました。

これは高等学校教師・生徒に対する溶接技能の研修会です。神奈川県溶接協会としては今年で8回目になります。実習内容は溶接技能評価試験のA-2F(板厚9mm裏当て金あり下向き)です。

参加者は8校から教師、生徒43名が参加しました。

今年も昨年同様、神奈川県職業能力開発協会のご協力の下、溶接技術マイスターの佐藤丹治先生を講師としてお迎えして行われ、溶接技術の基本、勘所についてなどレクチャーを受けました。教師も生徒も皆さん大変熱心に取り組んでいたのが印象的でした。

尚 8月25日には（一財）日本溶接技術センターで『非破壊検査セミナー』を開催しました。前日の講習で溶接した参加者各自の作品を蛍光探傷試験及びX線透過試験したものを専門家の解説を受けながら溶接部の観察をしました。普段見ることのできない溶接内部の状況に参加者は目を輝かせて見入っていました。



夏休み研修会参加者の教師・生徒の皆さん

## 寄稿

### 江ノ島

株式会社 大倉製作所 尾茂田剛

私が勤める会社の最寄駅、JR藤沢から小田急線（片瀬江ノ島行き）に乗って3駅、片瀬江ノ島駅に着きます。夏が終わり海の家もかたづけられた湘南の江ノ島を散策してきました。

片瀬江ノ島駅を出ると、すぐ目の前には海が広がります。そこから片瀬東浜海水浴場を見ながら江ノ島弁天橋を渡ると江ノ島へ到着です。

江ノ島は観光の島で名所がいくつかあります。江ノ島シーキャンドル／江ノ島サムエル・コッキング苑、岩屋洞窟、稚児ヶ淵、龍恋の鐘、江ノ島のなかではありませんが、江ノ島の観光名所のひとつで新江ノ島水族館等々があります。

江ノ島に着くとまず、お土産屋さんの間に青銅の鳥居があり、そこをくぐると「仲見世通り」。江ノ島名物「丸焼きたこせんべい」を買う長い行列を横にさらに坂道を上っていくと江ノ島神社の大鳥居に着きます。江ノ島神社は欽明天皇13年（西暦552年）に島の洞窟(岩屋洞窟)に神様をおまつりしたのが始まりで、神社は島の入口近くの辺津宮、中程の中津宮、西奥の奥津宮の三社からなります。大鳥居をくぐりさらに階段を登って行くと辺津宮境内。六角のお堂「奉安殿」におまつりされている「妙音弁財天」という弁天様があります。安芸の宮島、近江の竹生島と並ぶ日本三大弁財天のひとつです。

江ノ島は登り下りの山ですが関東ローム層で箱根・富士山の火山灰が堆積したものだそうでそれらが起伏して出来たものです。岩屋洞窟は富士のふもとまでつながっているといういわれがあるそうです。

江ノ島を一周すると結構な運動量です。お食事処も通りのあちらこちらにあり、しらすやあわびなどの魚貝類などを食べる事が出来ます。散策した日はあいにくの雨でしたがたくさんの観光客と人気のお食事処には長い行列で通りはいっぱいでした。

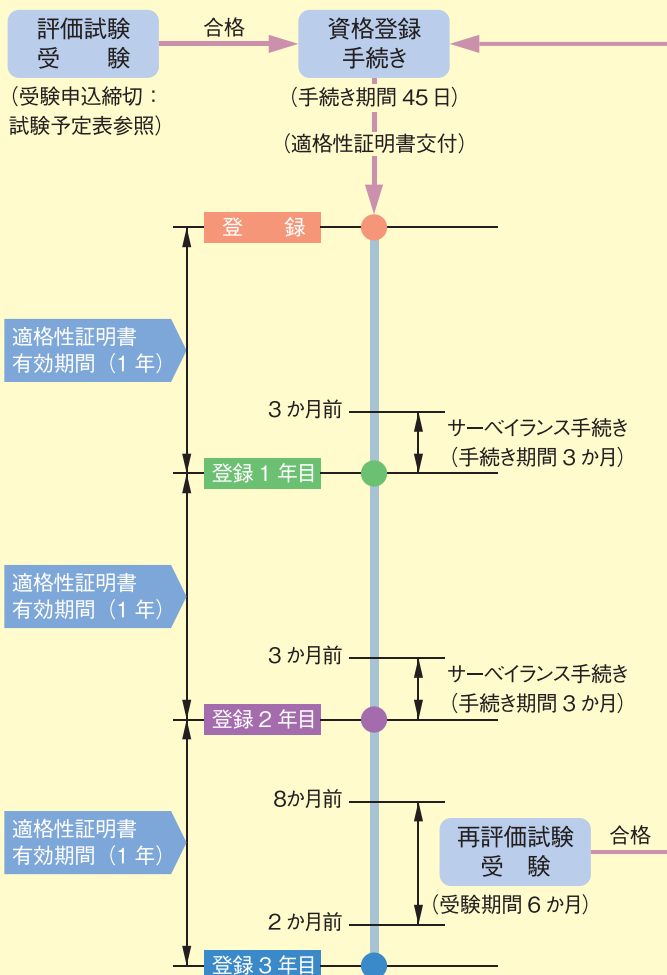
4年後には東京オリンピックのセーリング競技が行われます。江ノ島には世界各国の人が訪れにぎわうでしょう。





## 更新試験（再評価試験）について

### 評価試験の流れ



- ①更新試験の受験期間が次のようになっています。  
更新試験の受験期間は技術資格の有効期限が切れる8ヶ月前から2ヶ月前までに試験を受けなければなりません。
- ②更新試験に合格した場合は資格の登録日が現在資格の有効期限に合わせて登録されるようになっています。
- ③上記期間外に受験する場合は有効期限内であっても、新規試験（学科試験免除）で基本級も受験しなければなりませんのでご注意ください。
- ④更新試験と同時に新規種目も受験出来ますが、この場合は新規試験（学科試験免除）扱いとなり②の扱いは受けられません。  
②の扱いを受けようとする場合は新規試験及び更新試験それぞれ試験申込書を別々にしてください。
- ⑤登録年月日と有効期限が同じで証明書番号が異なる別々の資格を一枚の試験申込書で申し込んで受験する場合は現在のところ更新試験の扱いにはなりません。  
新規受験になってしまいますのでご注意ください。  
更新試験の扱いを受ける場合は、申込書を別々にして下さい。
- ⑥試験結果の発表は、毎月の15日以前の試験は翌月末の発表です。

### サーベイランス（継続試験）と更新試験（再評価試験）

溶接適格性証明書には登録年月日（発行年月日）と有効期限が記載されています。サーベイランスとは書類のみの手続きで試験はありません。有効期限の3ヶ月前から期限の日までに手続きをしてください。必ず有効期限の3ヶ月前に通知を出しています。最初（1回目）のサーベイランスをされないと2回目のサーベイランスの通知は行きません。サーベイランスは2回です。

サーベイランスを2回されますと、次は更新試験（再評価試験）になります。実技試験を受け直して合格されますと新しく証明書が発行されます。但し、1回目のサーベイランス又は2回目のサーベイランスをされませんと更新試験の案内も行きませんのでご注意ください。